

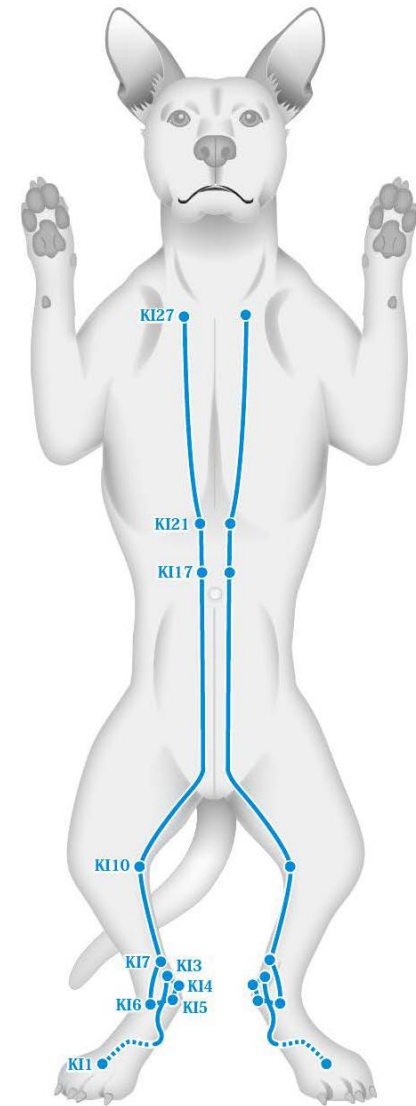
後肢少陰腎經

国際中獣医学院日本校

石野 孝

後肢少陰腎経 (KI)

- 【走行】足底球の尾側から始まり、足根から内側に出て内果を一周した後、後肢の尾内側を上がる。そのまま腹部へと通り、臍の両側を通り胸で終わる。
- 【主治】泌尿器疾患、生殖器疾患、加齢に伴う問題
- 【主なツボ】湧泉、太谿、太鐘、水泉、照海、復溜、陰谷、商曲、幽門、兪府



湧泉(KI1)

腎経の井穴

【位置】 足底球の尾側

【作用】 開竅：七竅を開き意識をはっきりさせる

寧神：安らかに落ち着く

【主治】 咽頭痛、泌尿器疾患、趾底腫痛、後肢リウマチ、中暑、癲癇、後肢麻痺

【操作】 第三中足骨と第4中足骨との間に向けて刺鍼

太谿(K13)

腎経の原穴

【位置】 内果とアキレス腱との間の陥凹部

【作用】 益腎降火：腎気を補充し上った熱を下げることで。火を鎮めれば炎症が消える

通調衝任：衝脈・任脈の通りを調える

【主治】 咽喉痛、歯痛、咯血、気喘、糖尿病、性ホルモン不調、遺精、泌尿器疾患、腰脊痛、難産、下痢、後肢麻痺、感冒

【操作】 直刺または斜刺。灸も可

大鐘(K14)

【位置】 太谿(K13)の尾側で、アキレス腱の付着部

【作用】 益腎：腎気を補充し上った熱を下げることで。火を鎮めれば炎症が消える

通調衝任：衝脈・任脈の通りを調え

【主治】 内果腫痛、足関節障害、踵痛、泌尿・生殖器障害、婦人病、水腫、神経衰弱

【操作】 直刺または斜刺

水泉(K15)

腎経の郄穴

【位置】 太谿(K13)の直下。踵骨隆起の頭側(前方)にある陥凹部

【作用】 通調経血：月水を調え流れを良くする

疎利下焦：下焦の流れを良くする

【主治】 踵痛、婦人病、泌尿・生殖器系の障害

【操作】 直刺または斜刺

照海(K16)

【位置】 起立した状態で、内果遠位端の直下(遠位すぐのところ)

【作用】 通過清熱: 熱を通り過ぎさせる

利咽安神: 咽喉をうるおし心を安らかにする

【主治】 足関節障害、婦人病、泌尿・生殖器系の障害、下腿内側の知覚・運動障害

【操作】 直刺または斜刺

復溜(K17)

腎経の経穴

【位置】 アキレス腱の頭側縁上、内果から2寸近位の高さ

【作用】 滋腎去湿：腎を補い湿を取り去る

【主治】 水腫、腹部膨満、下痢、腸鳴、後肢疾患。ヒトへの実験では、本穴刺針により利尿作用、腸の善導運動が促進されるとの報告あり

【操作】 直刺または斜刺

陰谷(KI10)

腎経の合穴

【位置】 膝窩屈曲線(膝のひだ)の内側で、反筋様筋腱の外側。委中(BL40)のすぐ内側。

【作用】 理下焦:下焦の気を正常に巡らせ機能を回復する

除脹満:腹部膨満を除く

【主治】 陽痿、疝痛、泌尿器疾患、膝関節疾患、癲狂、子宮疾患

【操作】 直刺または斜刺、灸も可

商曲(KI17)

【位置】 下脘(CV10腹部正中線上で、臍と剣状突起を結んだ線上で、臍から2/8)の0.5寸外側

【作用】 調理腸胃：胃腸を調えて機能の回復を図る

【主治】 腹痛、腸鳴、便秘、下痢、婦人病

【操作】 直刺または斜刺

幽門(KI21)

【位置】 巨闕(CV14:腹部正中線上で、臍と剣状突起とを結んだの剣状突起からみて2/8)の0.5寸外側

【作用】 降逆:上がった気を下げる

利咽:のど(咽喉)の調子を整える

和胃:胃気不和を治療する方法

【主治】 腹痛、腹部膨満、消化不良、嘔吐、下痢、尿閉、血便

【操作】 直刺斜刺

兪府(KI27)

- 【位置】前胸部、第一肋間の前縁で、腹部正中線から2寸外側
- 【作用】利気平喘：気を巡らして哮喘を平癒する
-
- 【主治】胸部苦悶感、咳嗽、喘息、脇痛、腋下部の腫痛、リンパ節腫大
- 【操作】横刺または斜刺